

施策	23	高等教育の充実	政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり		
施策主管課	学校教育課	課長名	林 保彦	内線	3710	政策担当部長名	教育次長 三浦伸一
施策関係課名	生涯学習・スポーツ課、公民館、図書館、産業振興課						
重点施策	関連計画	飯田市教育振興基本計画、地育力向上連携システム推進計画					

1 施策の目的

目的	対象	大学生、高校生、短大生、専修学校生
	意図	学ぶ機会が得られる

2 現状把握

(1)対象指標、成果指標の状況

対象指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	見込み 28年度
市内中学校を卒業した数	人	1,087	1,048	1,000	1,047	1,036	1,062	1,067
成果指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標 28年度
高校・大学進学率 ア)高校進学率 イ)大学進学率(短大含む) ウ)専修学校進学率	%	ア)98.9 イ)49.2 ウ)24.3	ア)99.6 イ)49.5 ウ)22.5	ア)98.2 イ)48.9 ウ)20.6	ア)99.2 イ)46.9 ウ)22.3	ア)98.6 イ)48.9 ウ)19.7	ア)98.2 イ)47.1 ウ)20.6	ア)99 イ)54 ウ)23
高校生活に満足している人の割合	%	68.0	-	-	72	-	-	70

(2)成果向上に向けての役割分担

主体	役割分担	ムトス指標と把握方法と単位	23年度 実績	24年度	25年度	26年度	目標 28年度	
行政	市(国・県) ・進学する人への経済的な支援 ・私立学校への財政的な支援	市で奨学金の貸与を行っている高校生及び大学生の数(人)	73 50	73 50	80 60	82	90	
		財政的な支援を行った私立学校の数(校)	1	1	1	1	1	
主体	役割分担	ムトス指標と把握方法と単位	役割発揮の特記事項					
市民等	個人	高校、専修学校、大学(短大含む)への進学	進学率	・3つの民間育英会(長志、松村、竜峡)からは、毎年市へ奨学金資金を寄付して頂いている。これらの資金を基にして各育英会と市が奨学金貸与審査委員会を組織して奨学金貸与者の選考をしている(概ね毎年50人を選定。)				
	教育機関	ニーズにあった教育を実施する	在学している学校に満足している人の割合					
	民間育英会(任意団体)	進学する人への経済的な支援	民間の奨学金を利用した人数					

3 平成26年度の評価結果

(1)実施した事務事業の評価(取組みの状況評価)

計画どおり取り組めた
おおむね計画どおり
あまり取り組めなかった
達成できなかった

(2)施策全体の評価(外部要因も含めた総合的な評価)

進んだ
ある程度進んだ
あまり進まなかった
進まなかった

4 平成26年度の取組概要と評価(成果や課題、その要因)

【施策全体の評価】

- ・この施策は、進学し学ぶための財政的支援を2つの事務事業で展開している。
- ・2つの事務事業の対象である私立高校、奨学金の貸与者に対しては、施策の意図に沿った対応ができています。
- ・なお、成果指標は3年毎に実施する高校生アンケート(飯伊の高校で原則各学年1クラスを対象(定時制含))から数値を把握しており、平成26年度は未実施のため数値は無い。

【事務事業群テーマ別の評価】

<教育環境の充実>

- ・「飯田女子高等学校運営支援事業」は、飯田市と下伊那の町村がルールに基づき負担金を支出しており円滑な学校運営に貢献できている。

<教育内容の充実>

- ・教育内容の充実に関しては、直接的に当該施策に位置付けて展開しているものはないが、関連する取組を以下へ記載する。
- ・飯田市公民館では、松本大学と連携し、飯田OIDE長姫高校商業科の生徒を対象とした「地域を愛し、地域を理解し、地域に貢献する人材・地域人」教育(施策29「ふるさと意識の醸成」)の取り組みの一環として、1年生(地域を知るフィールドスタディ2日間)、2年生(中心市街地のまちづくり活動への参加)、3年生(課題研究として市内6地区の課題と生徒を結びつける)3年間を通じた授業づくりのサポートに取り組んだ。
- ・同じく飯田市公民館では、ふるさとと世界を学び、自らの進路を考えることを狙いとした高校生講座「カンボジアスタディツアー」を飯伊地区の高校に通う生徒を対象に開講し、7校15人の高校生が参加した。また平成25年度の参加者による報告会を実施した。
- ・地区公民館では飯田高校天文班、競技かるた班の生徒を講師とした親子天文講座や、飯田女子高校郷土料理クラブと地区郷土料理を考える会が連携し野底山森林公園祭りに出展参加(上郷)したり、阿智高校生たちが地区文化祭などにボランティアとして参加(山本)するなど、高校生と地域を結ぶ取り組みが広がっている。
- ・その他の社会教育機関でも高校と連携して出前講座等として以下の取組を展開し、高校生の学びの支援を行った。

中央図書館：下伊那農業高校の保育講座 1回22人

美術博物館：飯田高校理科科のグループでの課題研究に協力した。

- ・飯田市キャリア教育研究委員会において、飯伊地域の高校のキャリア教育担当教諭の出席を得て、小中高が連携したキャリア教育の推進に向けた情報・意見交換を行ってきた。

<教育機会の提供>

- ・奨学金貸与事業の展開は、飯田市が一括募集し、民間育英会3社と分担して貸与している。
- ・「奨学金貸与事業」は、奨学金貸与希望者の募集、審査をして、貸与(大学生等月3万円、高校生月1万円)と償還を行っている。また、奨学金貸与者が、卒業後に飯田市へ居住する場合には、償還の一部免除制度(年間償還額の1/3以内 上限6万円/年)を平成20年4月から実施している。
- ・平成26年度の奨学金新規貸与者数は、大学生等54人、高校生2人で計56人と予定の50人を上回った。これは応募者数が大学生等56人、高校生5人、合計61人で例年より多かったため、結果的に貸与者数を増やしてニーズに応えた。
- ・平成25年度の状況：応募数＝大学生等74人、高校生6人合計80人、貸与数＝大学生等57人、高校生3人 合計60人。
- ・償還の一部免除者は、飯田市民分29人(継続21人、新規8人)、民間育英会分39人(継続32人、新規7人) 合計68人。
- ・この数は年々増加傾向にある(H20:13 H21:20 H22:31 H23:40 H24:47 H25:57)。これは若者のUターン促進に寄与しているといえる。

<高大連携の取組>

[高校生を対象にした大学講義]

- ・学輪IIDAの大学研究者を講師に、地元高校生を対象にした大学講義を3校で実施した。(飯田高校・飯田風越高校・飯田OIDE長姫高校)

4年制大学を有しないなか、学輪IIDAの人的ネットワークを活用し、高校生が大学研究者の講義に触れる機会をつくることで、学習意欲の向上や視野の拡大、地域の価値を再認識する機会とした。

[高校生と大学生の学習・交流]

- ・フィールドスタディー等を通じて、学習や研究活動で飯田市を訪れる大学生と、地域課題研究に取り組んでいる高校生との学習・交流機会をつくった(飯田風越高校の学生と、東京大学、法政大学の大学生との学習・交流)。

5 上記を踏まえて、今後は、どのような対策を実施していきますか

- ・この施策では、高校生と大学生等を対象とした経済的支援となる事務事業を展開しており、引き続き教育環境の充実と教育機会提供のために取り組んでいく。

・市教育委員会では小中連携・一貫教育を平成25年度から全中学校区(9校)でスタートさせ、平成27年度はその取組を深耕期と位置づけ、同時に幼保小の連携として途切れない支援の充実にも取り組んでいる。これらを踏まえた今後の展開として、中長期的な課題として、中高の連携から学力の向上や途切れない支援策の研究なども将来的に視野においていく。

- ・施策29「ふるさと意識の醸成」に位置付け展開する飯田OIDE長姫高校(商業科)地域人教育は本年度で4年目を迎えるが、今年の3年生が初めて、1学年時から系統的に学んだ生徒たちであり、地域の課題をビジネス手法で解決する、いわゆるコミュニティビジネスとしての事業家育成を柱とした教育活動として、高校、松本大学、飯田市が生徒育成のねらいを共有し、取組の焦点化を図る。また地域人教育の成果を圏域内の他の高校に広げるための研究を進める。「高校生講座カンボジアスタディツアー」ではふるさと学習をより深めるために地域で活躍する大人たちとのつながりを強める講座内容の見直しを進める。

<教育環境の充実>

- ・「飯田女子高等学校運営支援事業」は、下伊那の町村と連携した支援策であり、引き続き実施していく見込みである。

<教育機会の提供>

- ・奨学金貸与事業では、貸与事業の展開から学ぶ機会の経済的支援を継続的に実施していく必要があるが、貸与を受けていた学生が大学等を卒業後にふるさと飯田へ戻った場合に、一定の条件のもと償還を免除する仕組みの活用ニーズが増えており、この両側面を多様な手段を活用して広報し、活用の促進を図っていく。

<高大連携の取組>

[高校生を対象にした大学講義]

- ・26年度に引き続き実施していく。

[高校生と大学生の学習・交流]

- ・26年度に引き続き実施していく。

6 平成26年度事務事業 施策系統図

目標 施策2-3

対象
高校生、大学生、短大生、専修学校生

意図
学ぶ機会が得られる

成果指標

高校・大学進学率

高校生活に満足している人の割合

教育環境の充実

学校関連施設
整備・管理

学校用機材
・教材整備

飯田女子高等学校
運営支援事業

教育内容の充実

カリキュラム
の工夫

「キャリア教育」や「地
域人教育」等の展開
↓
別施策で展開

大学とのネット
ワーク構築

・高校生対象大学講
義
・高校生・大学生学習
交流
↓
別施策で展開

教育機会の提供

外的要因
(距離、金銭など)
への対応

奨学金貸与事業

内的要因
(障害など)
への対応

事務事業